

岐阜県立山県高等学校

学 校 長 村上 宏俊
学 校 住 所 岐阜県山県市中洞4-4-1
電 話 0581-52-1551

令和6年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 山県高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年9月9日(月) 13:10～16:20
- 3 開催場所 山県高等学校 ゼミナール室(会議室)
- 4 参加者

会 長	大野 良輔	山県市教育委員・元加茂農林高等学校長
副 会 長	吉田 安孝	元本校同窓会長
委 員	山田 篤子	山県市主任児童委員
	米山 英津子	岐阜女子大学講師・元岐阜城北高等学校長
	矢能 あけみ	PTA会長
学 校 側	村上 宏俊	校長
	川畑 茂	教頭
	中谷 長史	教務部長
	伏見 聡	総務部長
	小川 信和	生徒指導部長
	各務 こづえ	進路指導部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 就職試験に向けた3年次生特別面接指導
- (2) 協議の進行について
 - ・学校長挨拶
 - ・意見交換
 - 面接指導について
 - 学校評価の結果について
 - 「スクール・ミッション(案)」について

(3) 3年次生特別面接指導について

意見1：一人一人のよい個性を感じることができた。それぞれの力を伸ばす有意義な時間を頂いた。引き続き、元気よく答えることができるよう取組んでほしい。

意見2：回答が整理できていない生徒もいたが、ほとんどの生徒がよくまとめられ回答できていた。短所を聞くと回答に詰まる子が見られたので、自分の性格分析をしっかりとできるとよい。

意見3：斜に構えた態度がなく、思いを一生懸命伝えようとする姿が見られてよかった。素直に本音でやりとりをしつつ、よい受け答えができており、練習を積み重ねてきたことが伝わった。

(4) 学校評価の結果について

意見1：生徒対象アンケート設問7「熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる先生が多い」で、「C：あまりあてはまらない」が減ったことはどのように考えているか。
⇒1年次、2年次で二人担任制に変えた点が大きい。多くの担任で生徒の支援を行うことができるため、設問7の好意的な回答の向上に繋がったのではないかと考える。

意見2：保護者対象アンケートの結果より、家庭との連絡について学校の対応に安心していることが伝わった。
⇒今年新設の総務部が、ホームページでのこまめな発信や、天候悪化による警報時の配信対応など細かく丁寧に行っており、よい評価に繋がったと考える。

(5) 「スクール・ミッション（案）」について

意見1：上級生と共に学び合うという授業展開があってもよいのではないかと。大きな学校ではできないが、本校であれば、3年次生、2年次生、1年次生が共に学ぶ場があり、1年次生が3年次生の姿を見ながら、学校生活や授業の中で学ぶことができる。これは3年次生にとってもよいチャレンジの場になるのではないかと。授業編成など困難はあるが、ぜひチャレンジしてほしい。

意見2：「社会と関わろうとする意欲を育てる」という表現は、本校の生徒にこういった意欲が見られないということで挙げられたのか。生まれて育っている段階で社会に関わっていると思われるが、本校の生徒は今一歩関わろうという姿を支援する必要があるということか。
⇒他県の高校視察をきっかけに、審議を重ねた。本校の生徒の課題として、自ら引いてしまったり、上手く関われなかったりするという課題があると捉えており、社会で働くことを始める前にその力を身につけさせたい。

意見3：山県市の主張大会を見せてもらった際、生徒が落ち着いて非常に堂々と司会進行をされていた。地域と関わろうとしている姿勢が見られた。地域の活動へ参加し、アピールできる場を作っていけるとよい。

(6) 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、3年次生に対する就職試験に向けた特別面接指導と学校評価の結果について意見交換を行った。また、スクール・ミッション（案）について意見交換を行い、全委員より承認が得られた。

今年度取組みを進めている事業については、地域や中学生にしっかりアピールすることで、生徒の頑張りを地域の方々に知っていただき、本校の活性化に繋がってほしい。